

平成28年8月 一部見直し

市立保育所の今後の方針

平成24年2月

能 代 市

目 次

市立保育所の今後の方針	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
-------------	--------------------------	-----

【参考 － 基本的な考え方と説明会の概要】

1 方針検討にあたっての主な視点と考え方	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
2 保護者・関係機関等への説明会の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7

市立保育所の今後の方針

市立保育所の今後の方針については、方針検討にあたっての主な視点と考え方を基に、保護者や地域の方々のご意見等も考慮し検討した結果、次のとおりとします。

1 ニツ井地域3子ども園について

ニツ井地域の3子ども園については、減少が続いている入所児童数に沿った保育所運営を行っていくため、平成26年4月1日に「ニツ井子ども園」と「きみまち子ども園」の2園に統合します。

○使用する園舎は、ニツ井地域内における子ども園の配置や通園のバランスを考慮するとともに、各子ども園の園舎や設備の老朽度、それに伴う改修費等から判断し、「ニツ井子ども園」と「きみまち子ども園」にするものです。

○統合の時期は、保護者への周知、子どもの環境変化への配慮、2園による3歳未満児保育に必要な改修等のための期間を概ね2年とし、平成26年4月1日とするものです。

2 へき地保育所について

へき地保育所については、子どもの発達に配慮した保育を提供していくとともに、市の財政を考慮した運営をしていくため、国の補助基準である入所児童数が10人以上の保育所を継続し、4月1日の入所児童数が3年連続して10人未満の保育所は廃止します。

ただし、廃止が決定した場合でも、廃止を決定した4月1日に入所している児童がすべて退所する時点まで継続します。

○竹生、河戸川、常盤、福田、鶴形、檜山保育所は、入所児童数が、平成22年・23年と2年連続して10人未満となっていることから、平成24年4月1日の入所児童数が10人未満となった場合は廃止を決定し、平成24年4月1日に入所している児童がすべて退所するまで継続することとします。

また、平成24年4月1日の入所児童数が10人以上となった場合は、保育所を継続し、次年度以降、4月1日の入所児童数が3年連続して10人未満となった時点で廃止や廃止までの期間を決定することとします。

○浅内保育所は、入所児童数が、これまで10人未満となった年度がないことから、引き続き保育所を継続し、平成24年度以降、4月1日の入所児童数が3年連続して10人未満となった時点で廃止や廃止までの期間を決定することとします。

○廃止までの期間途中で入所児童数が0人となった場合は、その時点で廃止することとします。

○廃止が決定した場合でも、廃止までの期間は新規入所を受け入れることとします。

○河戸川、浅内、福田保育所は、同一小学校区内に設置されています。今後、この3カ所のうち廃止される保育所が出てきた場合、その保育所の対象地域の児童は、他の継続している浅内地域のへき地保育所に入所できることとします。

【へき地保育所の方針（イメージ）】

①竹生、河戸川、常盤、福田、鶴形、檜山保育所の平成24年4月1日の入所児童数が10人未満となり、廃止が決定した場合

	平成24年度 (4/1の入所児童)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	入所児童が0人の場合	廃止				
	年長児（5歳児）のみ入所	廃止を決定 継続 →	廃止	廃止		
	年中児（4歳児）以上が入所	廃止を決定 継続 →	廃止		廃止	
	年少児（3歳児）以上が入所	廃止を決定 継続 →	廃止			廃止
	満3歳児（4月生れの2歳児）以上が入所	廃止を決定 継続 →	廃止			

②浅内保育所の場合、及び竹生、河戸川、常盤、福田、鶴形、檜山保育所の平成24年4月1日の入所児童数が10人以上となった場合

平成24年度 (4/1入所児童数)	平成25年度 (4/1入所児童数)	平成26年度 (4/1入所児童数)	平成27年度 (4/1入所児童数)	平成28年度 (4/1入所児童数)
10人以上	10人未満	10人未満	10人未満 (廃止を決定)	
3年連続10人未満			→ 廃止が決定した年度から、 上記①の手順による。	

※3年連続10人未満となる年度が1年延びた場合、廃止となる年度も1年延びる。

3 公立保育所の民間移管について【平成28年8月見直し】

市立保育所については、補助制度が維持されている私立保育所の方が多様なニーズに沿ったサービスを提供しやすいこと、財政面で見た場合に市の負担が少ないこと、保育所の運営が社会情勢や国の政策の移り変わりとともに民間へ移行してきていることなどから、民間移管を基本とします。

ただし、国・県の動向や入所児童数の動向のほか、地域の状況等を踏まえ、定員の見直しや施設の廃止を合わせて検討し、その方向を決定します。

- 国の新制度に伴い民間の認定こども園における保育所機能の定員が増え、受入体制が充実したこと、それに対し、市全体の入所児童数が減少しており、現施設数を1ヵ所減らした場合でも、今後の入所見込に対する受入は十分できることから、施設の老朽度やそれに伴う改修費等を考え、第四保育所を廃止することとします。
- 第四保育所の廃止の時期は平成34年度末とし、廃止までの期間は新規入所を受け入れることとします。
- 第四保育所以外の公立保育所については、方針に基づき検討を進めます。

1 方針検討にあたっての主な視点と考え方

平成23年9月、市立保育所の今後の方針検討にあたっての主な視点と考え方を、次のとおり取りまとめました。

(1) 行革項目「二ツ井地域の3子ども園を1園に統合」について

能代市行財政改革大綱では、「入所児童の状況をみながら、段階的に統合・改築を検討する。なお、併せて民間移管の方向を検討する。」としています。

これは、旧二ツ井町の計画であった、現状の3園から1園体制とし、新園舎を建設するという方向を継承したものであります。

二ツ井地域の3子ども園については、入所児童数の減少が今後も続く見込まれることや、市の保育士の減少等を考えると、統合は必要であります。市立保育所の施設整備に対する国の補助制度は廃止されており、1園体制に必要な園舎を市が建設することは困難となっています。

そのため、入所児童数の減少に沿って、現在ある市の園舎を活用しながら段階的に統合を進めていく必要があると考えています。

こうしたことから、二ツ井地域の3子ども園については、2園に統合する方向で考え、統合の時期や使用する園舎などについて検討します。

(2) 行革項目「へき地保育所の統合・廃止」について

能代市行財政改革大綱では、「入所児童の状況をみながら、段階的に統合・廃止を検討する。なお、併せて統合時の民間移管の方向を検討する。」としています。

へき地保育所の入所児童数は大きく減少しており、早ければ平成24年度から、すべてのへき地保育所で10人を下回ることも考えられます。

入所児童数が10人に満たないへき地保育所は、国の補助金の対象外となるため、市の財政負担につながっており、また、乳幼児期の発達に必要な集団保育ができないことも大きな課題となっています。

へき地保育所同士の統合については、自宅から近いなどの特性が失われることになり、また、保護者は、近くに入所可能なへき地保育所がある場合でも、3歳未満児の保育や延長保育などの環境を有する認可保育所を選択する傾向にあるため、統合による効果は見込めないと考えています。

こうしたことから、へき地保育所については、統合の方向ではなく、一定の基準を満たさない保育所は廃止する方向で考え、その判断基準や時期について検討します。

(3) 行革項目「公立保育所の民間移管」について

能代市行財政改革大綱では、「二ツ井地域の3子ども園の統合、へき地保育所の統合、廃止を検討し、その中で民間移管の方向を検討する。老朽化が著しい施設については、改築も併せて検討する。」としています。

これまで市町村が主体となって担ってきた保育所の運営は、社会情勢や国の政策の移り変わりとともに民間へ移行してきています。

特に財政面で見た場合、公立保育所は、運営費や施設整備費の補助制度が廃止され、すべて市の一般財源で賄う一方で、私立保育所は、補助制度が維持・拡充されているため、市の負担は少なくなっています。

本市においても、社会福祉法人・学校法人・NPO法人が、それぞれの補助制度を活用しながら、新たな認可保育所の設置や認定こども園の開設などに取り組み、その柔軟性や独自性を活かし、保護者ニーズに応じた保育サービスを提供しています。

このような状況の中で、本市では、入所児童数の減少に加え、正職員の保育士数が減少していくという課題を抱えています。保育サービスの実施は保育士が要となるため、現在の施設数のままでは正職員の割合がさらに少なくなり、保育所の運営が困難になっていくとともに、新たな保護者ニーズへの対応ができなくなっていくと考えています。

こうしたことから、市立保育所については、基本的に民間移管を進める方向で考え、その目途について検討します。

2 保護者・関係機関等への説明会の概要

二ツ井地域の3子ども園と能代地域のへき地保育所の保護者や地域の方々に説明会を開催し、保育所を取り巻く現状や方針検討にあたっての主な視点と考え方についてご理解をいただくとともに、ご意見を伺いました。

(1) 開催状況と出席状況

【保護者・自治会】

区分	開催日時	出席状況			
		対象	出席者	対象者	出席率
鶴形保育所	10月11日(火) 午後7時～	保護者	5人	5人	100.0%
		自治会長	5人	8人	62.5%
竹生保育所	10月12日(水) 午後7時～	保護者	5人	5人	100.0%
		自治会長	3人	7人	42.9%
二ツ井子ども園 高丘子ども園 きみまち子ども園	10月13日(木) 午後7時～	保護者	19人	167人	11.4%
河戸川保育所	10月14日(金) 午後7時～	保護者	4人	8人	50.0%
		自治会長	3人	6人	50.0%
浅内保育所	10月17日(月) 午後7時～	保護者	6人	9人	66.7%
		自治会長	2人	3人	66.7%
福田保育所	10月18日(火) 午後7時～	保護者	2人	4人	50.0%
		自治会長	4人	6人	66.7%
檜山保育所	10月19日(水) 午後7時～	保護者	4人	6人	66.7%
		自治会長	6人	19人	31.6%
常盤保育所	10月21日(金) 午後7時～	保護者	2人	3人	66.7%
		自治会長	5人	14人	35.7%

【関係機関】

区分	開催日時	出席状況			
		対象	出席者	対象者	出席率
次世代育成支援行動計画推進協議会	11月15日(火) 午後1時30分～	委員	11人	18人	61.1%
二ツ井地域協議会	11月17日(木) 午後3時～	委員	8人	15人	53.3%

(2) 主な意見・要望の要約

【二ツ井地域の3子ども園について】

(園舎について)

- 財政状況が厳しい中で、新しい施設を建てるのはどうかと思う。現在の施設を使用する方がいいと思う。
- 統合により廃止となる子ども園でも、廃止が決まったからといって、経費をかけないということの無いようにしてもらいたい。
- 子ども園のホールは、行事などで保護者が集まる場所であり、統合に伴い人数も増えると思うので広くしてもらいたい。
- 長い目で見て、現在の施設に手をかけていく費用を考えれば、小学校の近くに1カ所建てるという方法もあると思う。
- 統廃合や民間移管が進むと思うが、保護者は、子どもの教育環境を特に心配すると思うので、市の関与をしっかりとってもらいたい。

【能代地域のへき地保育所について】

(廃止の時期について)

- 来年4月からすぐに無くなるのか心配である。
- 子どもの数が少ないので廃止の考えは分かるが、現在入所している児童が卒園するまでは継続してもらいたい。

(保育料等について)

- 認可保育所や幼稚園に通うとなると、今より保育料が高くなる。保育料や送迎費用への助成などがあればいいと思う。
- 認可保育所の保育料は、最近では兄弟の年齢が離れている家も多いので、兄弟が同時に入所している場合だけ軽減されるのではなく、上の子が小学生であっても2人目、3人目の子どもが軽減されればいいと思う。
- 送迎のことを考えて、近くのへき地保育所に入れている保護者もいる。市内の保育所に行く場合、保護者の送迎の負担が増えるので、市で送迎バスを出してもらいたい。

(浅内地域の3保育所について)

- 浅内地域には、へき地保育所が3カ所ある。3カ所を合わせると10人以上の児童がいるので1カ所は継続してもらいたい。
- 浅内保育所に河戸川、福田の保育所を統合して、何年か様子を見てもらいたい。
- 保育所に同じ小学校に入る子どもがいると安心。河戸川、浅内、福田のうち1カ所は残してもらいたい。
- 上の子の浅内小学校への送迎もあるため、小学校の近くに1カ所残してもらいたい。

(その他)

- へき地保育所の開所時間が保護者のニーズに合っていない。始まりと終わりの時間を延長すれば入所児童が集まると思う。
- へき地保育所の地域の子どもだけではなく、里帰りしている他の市町村の子どもも受け入れる体制をとれば、入所児童数が増えると思う。
- へき地保育所があっても、地域に入る子どもがいないので、保育所が無くなるのは止むを得ないと思う。
- 廃止となって他の認可保育所や幼稚園に移らなければならない場合、すぐに入れるかどうか心配である。
- 廃止となった場合、入所している子どもが他の保育所に安心して入れるよう、保護者一人ひとりの状況に配慮してもらいたい。
- 国の制度は首都圏（待機児童が多い）を中心に考えているので、能代市は能代の地域にあった保育を続けてもらいたい。

【市立保育所の民間移管について】

- 市で運営している保育所なので安心して預けられるという思いもある。市立保育所もあればいいと思う。
- 民間は競争なので、子どもが減っていった場合、将来的に経営が大丈夫なのか心配である。
- 二ツ井地域の民間移管について、地域の意見をしっかり聞いて進めてもらいたい。